



R4年7月29日

南相馬市議会議長

会派名 友和会

代表者氏名

今村 紘

### 調査研究報告書

- 1 期間 R4年7月26日(火)~R4年7月28日(木)
- 2 参加者
- |         |         |
|---------|---------|
| ① 細田 廣  | ② 菊地 洋一 |
| ③ 田中 一正 | ④ 大場 敏則 |
| ⑤ 今村 紘  | ⑥       |
- 3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

調査研究内容

月日	R4年7月26日(火) ~ R4年7月28日(木)
旅行先	熊本市役所 北九州市役所
調査研究事項	プラゴミ削減事業 市民のフストサービス
[内容]	
<p>1. 熊本市役所 (プラゴミ削減事業) 環境尚資源循環課長、下録田英天 課長、 副課長、中村 勝 課長</p> <p>「このレジ袋は、この紙燃やゴミが出せようんじや」とのキャッチフレーズをロー ンビの実証実験を行った熊本市。レジカウンターにレジ袋を挿入するだけで、お釣 り袋に付し「レジ袋をゴミ袋」として「150円」と表示。実証実験を行ったものの、レジ 袋持参者が76%に減少し、レジ袋の利用者は23%。ゴミ袋を1袋購入した場合は1%であった。 背景には、1枚3円14角の紙製レジ袋に対し、ゴミ袋は「リ」が12円、「持」が4円と割高 であること、地域住民への周知不足、更に市内の698店舗中、「販売していない」と回答した 小売店が79%に達したこと等が挙げられる。北九州市の利用率が76%にのぼる理由 も要因と見られる。市は「あくまでレジ袋の推進が前提条件である」として、活用 に欲しいと希望する者、課長は「結果として、今後、利用者の声の収集や プラスチックのゴミ袋の製作に着手したい」と話す。南相馬市は、後期基本計画の 政策目標を「実現可能なSDGs貢献の取組を推進する」としている。今回の実証実験を参考に 「実現可能な」、「実現可能な」、「実現可能な」の観点から、今後の取り組みの方向性を 検討する。</p>	
<p>2. 視察: 研修入明日は震災後、職員を派遣し、頂上長崎市長への表敬訪問や長崎県、 爆弾資料館、平和公園等を視察した。</p>	
<p>3. 北九州市役所 (市民のフストサービス) 市民総合サービス課長 和田将洋 課長 別分が、より便利に窓口を目指し、全窓口のフストサービスを始める北九 州市。引越サービスは、住所変更や戸籍の届出の際に、国民健康保険や児童 手当、介護保険などの保険福祉の手続きや、市民課で済ませるサービスは、市民課定 員に黄色の腕章をつけて職員を配置し、対応に当たるとして、専門的の判断や相談 が必要なもの、例えば、水道の漏水相談や、市営 住宅の入居申請など。市職員は、担当の増加、対応の向上に期待している。市民課職 員は、他課の業務を把握する必要がある程度との回答。市民が役所を訪問して、諸手 続きを完了する。視察15~20分(北九州市の限りにあらず)。利用者からは、早い便利 との声が多く聞かれた。南相馬市でも参考にし、市民サービスの向上に向けて取り組む 必要を感じた。</p>	
<p>4. 参考資料を提示し、詳細は、北九州市役所と確認した。</p>	